

<挿入ソート>

iX1：インデックス1 (ソート済位置)

iX2：インデックス2 (挿入位置)

D(n)：データ D(1)、D(2)、D(3)、・・・、D(n-1)、D(n)

N：データ数

WK：作業域 データを入れ替えるための作業域

(2つのデータを入れ替えるには、一時的にどちらかを避難させる必要があるため)

※下図は整列されているデータに新しい要素を適切な位置まで入れ替えていく様子です。適切な位置に挿入できたら終了です。

